



北九州市立黒崎中央小学校 高学年通信 文責：藤田 正博

～絆を深めて Keep Smile～

第95号 令和2年12月1日（火）

本当の優しさが多くの人の心に届く！～花火プロジェクト～

みなさんの思
いが、大空に舞
い上がります。

昨日は、前 PTA 会長曾我部様を始め、黒崎地区の青年会議所の方々そして花火師の泉様から貴重な提案を頂きました。名付けて「届けよう願いを、花火プロジェクト」！子ども達を書いた願いごとを花火にはり付け、大空高く打ち上げる企画です。

さて、子ども達はどのような願い事を書いているのでしょうか？よく見て見ると、共通点が見られました。「マスクを外して友達と話したい。」「みんなで旅行に行きたい。」「笑顔で卒業式を迎えたい」などなど、いったいどのような共通点なのでしょう？

思いやりの心＝他者貢献 で心が大きく成長した子ども達



友達ファーストで、相手の立場に立って書いている願い事が圧倒的に多かったのです。何かと我慢が強いられた今年度。最高学年としての活躍の場も制限されてきました。しかし、同じ境遇の仲間と、日々同じ状況の中で共有し共感する日々。子ども達の心がずいぶん変わってきました。「思いやりの心」が育ったのです。



「そんな子ども達を何とか応援してあげたい。夢をかなえてあげたい。」
曽我部様や泉様は、子ども達の願いを叶えるべく黒崎中央小学校まで足を運んで下さいました。もちろんボランティアとして。

中には、会社経営者、飲食店経営者の方々もいらっしゃいました。とても厳しい状況下ではありますが、子ども達の未来のために力を出して下さいたことに、ただ感謝の思いが高まるばかりです。



今、この一瞬にありがとう。

私達は、今回のプロジェクトを通じ、困った時こそ助け合い、支え合うことの大切さを学びました。今年度は、今まで当たり前だと思っていたことに感謝の気持ちをもつことをたくさん教えていただきました。

黒崎中央小学校の子ども達が、この優しさと思いやりの心を育みながら大人への階段を上ることができるよう、これからも応援していきたいと思います。